

チェックポイント解説

①日本橋（船着き場）

フィールドワークの発着点。

日本橋川は高潮を防ぐための防潮堤が設置されている。

②日本橋水門

亀島川上流の防潮水門。

水門は洪水や高潮などが発生した際に閉めることで水害を防ぐ役割がある。

③亀島川水門

亀島川下流の水門で、隅田川と合流する場所。

亀島川と隅田川の堤防の高さの違いに注目。

④明石町ポンプ所

ポンプ場（排水機場）は、下水道の汚水を処理場へ中継する役割と雨水を川や海に放流して浸水を防ぐ役割がある。

⑤浜前水門

隅田川と新月島運河の分流点

⑥朝潮水門

朝潮運河の水門

運河は人工的に作られた水路を指し、月島地区・晴海地区の運河は埋め立て残して作られている。

⑦佃水門

朝潮運河と隅田川派川の分流点。海と川の境目となる。

⑧隅田川のスーパー堤防

スーパー堤防とは、堤防の高さに対して約30倍の幅を持たせたなだらかな構造で、洪水や地震に強い特徴がある。

東京都のスーパー堤防は、耐震性と親水性を目的に設計されており、緑地を整備することで水辺と一体化したまちづくりを目指している。

⑨箱崎ポンプ場（写真右）、箱崎地域冷暖房計画区域（写真左）

箱崎地域のオフィスビル群や高層住宅等を対象として、「河川水の持つ熱を有効活用した環境保全型地域熱供給システム」を導入（日本初）。

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kankyo/toplevel-certification-files-r2_heatsupplycenterinhakozaki